

創造的な人工知能は実現できるか？

研究動向とマーケティングリサーチにおける事例について

静岡大学 須藤明人

共同研究者

東北大学 藤原直哉、東京大学 徳田慶太

創意工夫によるイノベーションが 経済成長の鍵を握る

●将来の経済成長－現状のままでは 2040 年代以降マイナス成長に

●生産性の将来見通し－イノベーションが鍵

創意工夫によって生み出されるのがイノベーションである。
イノベーションの効果の発現によっては、大きな生産性の改善は決して無理ではない。

出展：平成 27 年 内閣府「選択する未来」

創造ネット

2017年に講演者が学術誌に報告した新しい手法

「創造ネット」の特徴

- ▶ システムに創造性を持たせるアプローチで
- ▶ 実務への幅広い適用が可能
- ▶ 得られるアイデアの数が増え、新奇性が増す傾向にある

既に**実用化の事例**が存在している。

- ▶ BtoB・BtoC問わず、新商品・サービス・事業の案出, 研究テーマ探索、販売戦略立案、広告文作成等を支援した。

ここまでの整理 & 講演者の技術

	実務への活用	システムも アイデアを出す
創造活動支援	○	X
創造性をシステムに 持たせる従来研究	△	○
講演者の技術 創造ネット	○	○

まとめ

"創造的な人工知能"を実現する研究の動向を説明。

実務に広く適用可能な手法として講演者らの技術を紹介。

3社の事例を紹介。

- ▶ 例えば、インテージ社の利用可能な「みんなレポ」から「イノベーションのヒントになる投稿」を抽出し、その投稿を「創造AI」が学習すれば、より良いアイデアが出ると期待され、共同研究を実施した。